

令和元年度第 1 回うきは市総合教育会議 議事録

1. 日時 令和元年 8 月 29 日（木）開会 18 時 閉会 19 時 20 分

2. 会場 うきは市役所 2 階庁議室

3. 出席者

◆委員（敬称略）

市長	高木 典雄
教育長	麻生 秀喜
教育委員	西見 修一
教育委員	處 愛美
教育委員	家永 由里子
教育委員	古賀 公彦
事務局	学校教育課、生涯学習課、企画財政課

4. 議事 (1)うきは市教育大綱の進捗検証について
(2)教育大綱の今後の在り方について
(3)その他

5. 議事録

○開会

○市長あいさつ

○議事

●市長

それでは、議事次第に沿って、まず(1)うきは市教育大綱の進捗検証についてを議題といたします。
基本施策 1. 子どもたちの「生きる力」を育てる取り組みについて説明をお願いします。

●事務局

基本施策 1 について、事務局説明

●市長

ご質問・ご意見はございませんか。

●委員

(3)の中の「子育てと教育を進める集い」は、基本施策 3. (5)「学校と校区や地域が一体となる交流行事を推進します」にも入れることはできますか。全ての校区を見たわけではありませんが吉井小などいくつか見させていただいて、子どもたちも参加して学校も自治協と協力しながらやっていました。「学校と地域の連携」という言葉がありますから。学校単独ではできない状況になっています。実際にされていますので差し支えないかなと思います。

●事務局

仰られたとおり、5 ページ 3. (5)に書かれていることは、1. (3)に入れていい内容だと思います。教育大綱を見直す中で基本施策 3.(5)が必要かも検討すべきと思いますので検討していきたいと思います。

●委員

1. (1)の体験学習について、以前うちの子どもが参加したときも天候不良で中止になりました。今回も同じく中止になりましたが、子ども議会は別のテーマを設定して開催してもいいのではと、親として気持ちがあります。壱岐島と子ども議会は連動しているとお聞きしましたが、壱岐島体験がなかったときは別の設定をして体験をさせてもいいんじゃないかと思います。

●事務局

壱岐島に行って遠くからうきは市を見たときに、うきは市ってこんなところだったんだと気づいたこ

とを子ども議会で市長に提案する仕組みをとっています。今年度は鷹取登山も壱岐島もなくなってかわいそうだなと思っています。来年の参考にさせていただきます。

●市長

頭の中が鷹取登山と壱岐島体験の続きで子ども議会と我々が思い込んでいるからそういう判断になるんだろうけど、切り離して、感動体験の日から子ども会議まで半月の間があるわけだから、そこを建て直して別の項目で子ども議会をやったらとのご指摘だと思います。そこについてはどう思いますか。

●事務局

子どもたちが最初に鷹取登山をするのは、別々の学校から集まりますし、登山をしながらみなさんが和んでグループ意識を持ってもらうためです。子ども議会は現在6つの班に分けて、班ごとに組み立てをして、どんな発言をしようかと決めてから協議しておりますのでそれが壱岐島に行かなかった場合をしたことがないのですが、グループ意識としてどうかという考えです。何か、自分たちがバラバラに発言するのではなくて、壱岐島を通じて子どもたちが行動したなかで、壱岐島のこんなところが良かったよねとか、うきはにこんなところがあつたらいいのにねとかを考えた上で子ども議会じゃないかなと思っています。子どもたちも学びばかりじゃ退屈でしょうし、せっかく普段と違う学校の児童と過ごせるわけですから、子どもたちに何か体験をさせながら議会に入る方が子どもにとってはいいんじゃないかなと。

●委員

中止になった時用に、何か1日で体験できるプログラムを用意するのはどうでしょう。それについて打ち合わせて、子ども議会に臨む形をとれば。

●事務局

そうですね。中止になった場合には、こういうプログラムがありますと募集するプランを検討します。

●市長

他にご意見はございませんか。ないようでしたら、基本施策2.に進みます。事務局お願いします。

●事務局

基本施策2.学力向上に向けての取り組みについて、事務局説明

●市長

ただいま報告がありました。これについてご意見・ご質問はございませんか。

●委員

記述されている内容は賛成なんですけど付け加える意味で、(1)の全小中学校で作成された「学力向上プラン」は、この数年間で内容がかなり充実してきているのではないかと感じています。プランを作成されてそれに従った教育実践が各学校各学年なされてきたことや、単なる計画・作成だけでなく年度ごとの流れまで足していただけるとありがたいなと思います。

●事務局

ありがとうございます。是非、書いていくべきだと思いますので、このあたりは再度追記をしていこうと思います。学校教育課の方からも今後情報提供をお願いします。

●委員

(3)について、中学生のことは何かないですか。

●市長

これまでの取り組みが小学生で今後の予定として中学生もあることでまだ実績がないのかとのご指摘ですね。事務局どうでしょう。

●事務局

今のところ、平成30年までの中学生の取り組みはございません。前高山市議から1千万円の寄付を受けたなかで子どもたちの芸術に触れる機会を増やしてほしいとの意向がありました。何か活用して取

り組みができたらいいなと思っていますし、そのひとつが今年度の歌舞伎の公演です。また、オランダとの交流事業のなかで、子どもや子育て世代をターゲットに世界のアーティストと触れ合う機会を設けるアーティスト・イン・レジデンス事業をブランド推進課が進めておりますので、その内容も加えさせていただきます。

●市長

他にございませんか。でしたら基本施策3.に進みます。

●事務局

基本施策3. 特色ある教育の取り組みについて、事務局説明

●市長

基本施策3. について、何かご質問ご意見はございませんか。

先程の(5)を1.に移す意見は「子育てと教育を進める集い」だけをいったら基本施策1.の(3)方がなじむかもしれませんね。

●委員

1.(3)で全く触れないのは、お世話をした保護者や自治協の立場になると残念に思う方もでてくるのではないかと思います。

●委員

この件に関しては、「子育てと教育を進める集い」が、基本施策1.「生きる力を醸成するための取り組み」なのか、基本施策3.「うきは市としての特色ある取り組み」なのかで言えば、どちらかという子どもたちが家庭と地域と学校と一体になって生きる力を生み出すためのものかなという気もするんですね。じゃあ、もっとうきはらしい特色のある教育は学校と家庭とどう作り出していくのか。あるのかないのかわかりませんが。

●委員

1.(3)は「環境づくりを推進します」で、3.(5)は「交流行事を推進します」ですよ。子育てと教育を進める集い」なので、環境づくりではない交流行事と分けるとちょっとわかりやすくなるのではと思います。

●市長

今の案は3.(5)で、市全体でやっている「子育てと教育を進める集い」は環境づくりそのものだから、1.(3)に持っていくと。3.(5)は山春でのソプラノ歌手の黒木さんの取り組みと、もう少し市民協働推進課から情報をもらって各地区自治協議会で子どもに教育していることをピックアップするというご意見じゃないかと思います。

●事務局

市民協働推進課からも情報提供いただいて加えていきたいと思っています。

●市長

3.(4)で、和製日本人ALTのことは入れられないですかね。かなり評価はいいと聞いていますが。

●教育長

それを記載することはいいと思います。

●事務局

そちらも加えておきます。

●委員

もう一つ、(2)で教育委員会が中心となって編集した五庄屋の副教材は改訂版まで出したんですよ。それを小学校全校使っていると思うのですが、それはここに加えられませんか。

●事務局

ぜひ挙げたいですね。

●市長

他にはよろしいでしょうか。では次に進みます。

●事務局

基本施策4. 生涯学習推進の取り組みについて、事務局説明

●市長

それではご質問・ご意見はございませんか。

●委員

(4)の図書館主催の定例事業について運営はどういった形で企画されているのですか。

●事務局

図書館長をはじめ、図書司書7名と職員がおります。そこで事業を企画しています。図書館協議会が年に2回開催されていますのでそこで検証して次の年度につなげています。

●委員

その協議会には市民の方も入って意見を言ってもらおうのですか

●事務局

そうです。

●市長

他にございませんか。

余談ですが、実は12月5日に大相撲の冬巡業で全力士が集まる「うきは場所」が開催されます。うきは市になってからは初めてで、合併前の37年前に吉井町に、55年前に浮羽町に来たことがあります。久しぶりです。この地方巡業の目的は次代を担う子どもたちに夢と希望を与える、要するに子育て支援というか子どもの健全育成のためでもあるそうです。

●委員

教育大綱の進捗状況の確認ということですが、「大綱」の意味は特定の子どもとか特定の市民を対象としているのではないという前提があると思うのです。すると、ここに書かれている成果が特定の子どもことでのいいのかなと思いました。一市民一保護者の視点でこれを見るとそう感じてしまうのです。

たとえば1.(1)のうきは市民大学で、対象は全ての子どもですが、実際は参加した子どもだけの体験です。やっぱり行政的な立場で何かを報告するのならば、より広く、より多くの対象の人たちが受けられるような施策はどうしたか、そしてその中で成果があったものがあればやっぱり取り上げるべきではないかなと思います。

2.(4)の寺子屋も、参加者は百数十名ですが全ての子どもに向けた成果であって、宿題とかプリント学習だけでなく、青少年科学館から講師を呼んで体験授業を行ったり、読み聞かせや工作、そういったものを生涯学習課が取り入れてくださっているのですから、長く書く必要はありませんがもうちょっと書けることがあるのではないかと。学校関係でいえば、定例校長会等を通じて教育委員会からの指導・通知を含めて、体験学習を重視するとか。教育委員会の定例の学校訪問関係でも重視してきたような一文があってもいいのではないかなと。行政側は常により広い視点で報告をしなければならないのではないかなという意見です。

●事務局

ありがとうございます。学校教育課・生涯学習課は、先程の委員さんの視点で、それぞれの項目を見直していただいて、追加事項があれば是非教えていただきたいと思います。特定の対象者ではなく、広くそういった機会を与えるような何か。よろしくお願いします。

●委員

この中にも結構、観光とかブランド推進課と連携して取り組まれていることもありますが、うきは観光みらいづくり公社でも子どもの教育と連動した観光づくりとか体験を通した子どもの成長を見守っ

ていくとか、将来的な取り組みを視野に入れていきますので、特に生涯学習課などからいろいろお知恵を拝借したいところです。より横断的な連携をしっかりと図っていただきたいと思います。

●市長

他にご意見はございませんか。ないようでしたら、議事の(1)うきは市教育大綱の検証については終了させていただきます。次に、議事(2)教育大綱の今後の在り方についてを議題といたします。

●事務局

現在の教育大綱は実施期間が今年度末までとなっており、新たな計画の策定を進めていく必要がございます。本日いただいたご意見等も踏まえまして、必要な見直しを行い、次期計画の策定を進めて参りたいと思っています。

一方で市長の任期が来年の7月までとなっております。この大綱の実施期間について、市長の任期にあわせて4年の計画とさせていただきます。そこで現教育大綱について1年延長し、次年度に向けて改訂を進めて参りたいと思っています。本日は委員の皆様のご了解を頂戴したいと思っていますところですので。併せて大綱の改訂に向けて何かこういった視点が欠けていることがありましたら、今日若しくは後日でも構いませんのでご意見を頂戴したいと思います。

●市長

次期教育大綱については、そういうスケジュールでやらせていただくことでよろしいですか。大きな大綱ですから、早いうちから皆様のご意見を聞いて、次期大綱に活かすべき項目をしっかりと捻出したと思っています。なにかご意見ございませんか。

●委員

先程、委員がおっしゃられた観光などと横断的に取り組むことについて、基本施策4.(2)の文化財の保護とか、うきは市がインバウンドにも力を入れていることを考えたら世界と交流するための国際感覚を養うための取り組みで、基本施策3.(4)の英語教育が大事じゃないかと思います。じゃあ、その英語教育をどのように施策として、子どもたちが実際に生きる力として、身につけるものにしていくのか、具体的にはいろんな方法があると思うのですが、例えば文化財の案内を中学生が英語でするとか、ALTの力を借りながら実際に活きた英語を使える場面を作っていくとけない。教室の中だけじゃなくて、即興で外国人とやりとりできる、自分の考えをきちんと伝えられる英語教育をどう作り上げていくのかということ施策の大きな視野として今後力を入れていただきたいなと思います。

●市長

来年から本格的に新しい学習指導要綱がスタートする節目の年となる中で、活きた英語を一から教えるのは重要だと思います。教育大綱は法律の改正があって市長が策定することになったが、もともと教育委員会は教育振興計画を策定しています。そうすると大綱に教育委員会が相乗りすれば首長はどこに教育施策についての考えを示すのかという問題がありますので、私としては是非、行政視点で教育大綱を進めたいと。それを英語に置き換えると、例えば行政がサポートするのは子どもたちに英語を勉強するきっかけづくりとか動機付けをやって、あとは学校教育現場にバトンタッチするような、そんなことを入れたらいいのではないかと。行政が子どもたちと英語を繋ぐ、そんなことが重要じゃないかなと思っています。

●委員

今おっしゃった方向で進めていったらいいのではないのでしょうか。

●市長

現時点での市長としての思いは学校教育大綱の違いの視点で、よく私はいろんな挨拶の場で将来を担う子どもたちの教育は重要だと言っています。将来30年後40年後、日本・世界の社会はどうなっているか、これはそっくり教育に当てはまるとしています。将来どうなるかしっかり子どもたちに伝えていく、そういうのが教育大綱らしいのではないかと。学校では教えられないような視点でやっていく。

そこで我々がマスタープランを作るなかでポイントは3つに尽きると思います。

1つが Society5.0 です。これは今までの経済成長と社会的課題をうまく両立させて、未来社会を構築するもので人間中心の未来社会はどうあるべきか。縄文時代を思い出せば狩猟社会でした。弥生時代になり農耕文化、イギリスを中心として始まった産業革命時代。そして最近では情報革命時代・ICT時代。じゃあ5番目は何かというと、AI、ロボットです。この総合教育会議でも以前、先生に来ていただいて、AI、ロボットが人間の知能を超える2045年問題について、そういったAI化社会のなかで我々の社会はどのようなかという話をしました。こういう社会を見据えたときに子どもの教育はどうあるべきかということ。

2点目が、SDGsです。2015年国連サミットで策定されて、2030年までに全世界が17の目標をクリアしましょう、169のターゲットからなる持続可能な開発目標の設定、人間だれひとり取り残されない社会、例えば地球温暖化の話をどうクリアするかとか、貧困対策のなかで子どもひとりとして取り残されないためには教育をどうしたらいいか、これがSDGsなんです。

3点目が、多文化共生社会。先ほど古賀委員からもお話がありましたが、インバウンドも去ることながら、人口が縮小し、生産年齢人口の減少が深刻化する中で日本の経済は誰が担うんだということで、出入国管理等の法律が改正になりました。現在ベトナムを筆頭に300名近い方がうきはに住んでいらっしゃるのですが、これが今まで以上に増えたときに多文化が融合するなかでどう共に生きていくかという多文化共生。ここで英語が必須となることを考えると、ICT教育では今福岡県でもトップを走っていますが、これを維持したまま society5.0 に融合していかなければなりません。あと残されているのは英語教育です。和製ALTなど特色ある取り組みはやらせていただいているのですが、さらなる取り組みで、多文化共生社会にどう融合していくかを考えていかなければならないと思っています。

最後に、文化振興。司馬遼太郎が、よく文明と文化が交互に繰り返してこの二千年の歴史があるのだと言っています。文明は経済行為で、文化は非経済行為で、しかしこの考えが見直され、文明と文化は融合するのではないかという意見が出てきています。つまりそれを肌を感じるのが地方創生です。地方創生の「創」という字は「創る」で前例主義では絶対に成り立たない。我々はうきはテロワールを始めとして、地域力をどう創造するか、創造力を今養おうとしている。子どもたちに創造力を養うには文化振興が重要なんだと。ICT教育の更なる延長と英語と文化振興が、学校現場ではなく行政として教育の大きな3大要素ではないかと思っています。

●委員

私も皆さんと同じく外国語教育は大事だと思いますが、道徳教育が今まで教育課程の中ではなかったのに始まりましたよね。それだけ子どもたちの心が世の中についていけない。子どもを育てる親の力量、環境が共に育っていないのではないかと、あえてそれをここに持ってこなくてはいけないのはやっぱり何か足りないのではないかと思います。結局子どもたちの心がなければ資料に書いていることも何も進まないのであってそれをあえて教えなければならない。教員・地域・大人がそれを伴っていないとすればうきは市の発展はないかなと思います、全体的に私は道徳教育と英語教育という思いがあります。

●市長

教育振興計画での規範意識と自尊意識の指摘だと思います。教育長いかがですか。

●教育長

こういう見方をしていただくとありがたいです。この前、鹿児島大学の先生に言われたんですけど、何のためにプログラミング学習を推進するのかという話で、例えば信号の点滅時間をプログラムすることの先にあるのは障害のある人にやさしい信号を作ること、よりよい社会・あたたかい人間です。それにつながることを指導する側がきちんと踏まえてやっていくのがトータル的に大事なんじゃないかと私は思います。ICTにしても英語もやっぱり必要なのは動機付けを大事にすること。何のために学ぶのかということをやっていけば心も育つんじゃないかと思っています。

●委員

行政で考える教育はどうしても一方的な印象があるのですが、例えばこれからは対象になる人が逆に教える立場になるというか、能動的な対象者を育てていく機会をいろいろな部署で増やしていけば全体的に教育が行き届いていくのかなと。限られた人材だけにこれらを実施しても手詰まりになって人手不足になることが目に見えていますので、自分から能動的に動いて人から認められることで子どもたちに自尊感情を持ってもらう、そういった視点で教育大綱を作っていくとよりいいものができるのではないかなと思います。

●委員

私はAIが人間の知能を超えるシンギュラリティは来てほしくないし、来ないと信じていますが、やっぱりAIが不得意なところは創造力とか人を思いやる心です。それを今の子どもたちにどう育んでもらうかが重要になってくるのではないかなと。大綱ですので振興基本計画とは別の立場に立って、うきは子どもたちをどう育てていくのかというところで作っていけばいいのではないかなと。

●市長

みなさんご意見ありがとうございました。それでは最後に進行を事務局に移します。

●事務局

本日はありがとうございました。崇高なご意見をいただき、是非参考にしたいと思っております。ICTも英語も創造力も、最終的には子どもたちが生き抜く力にたどりついていく印象を受けました。またこれからも、大綱の策定についてご意見いただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。